



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

大学院セミナー

斉藤 隆 先生

(理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センター・副センター長)

T細胞活性化シグナルのダイナミック制御

2009年11月2日(月) 16時-17時
医学部5号館 201号室

生体防御の中心を司るT細胞は、ウイルス・細菌をはじめ、無数の抗原に対する特異的な免疫応答を誘導します。T細胞は、T細胞抗原レセプター(TCR)によって抗原を特異的に認識して、活性化し、同じ特異性を持つクローンを増殖させ、種々の機能を発現する細胞に分化して、免疫応答を制御しています。斉藤博士は、T細胞の抗原認識から活性化と機能発現までの制御機構を解明して、これらに関与する分子を標的とし、T細胞を中心とする免疫制御法の確立、ひいては、自己免疫疾患、感染症の制御や移植などへの応用を目指しています。本講演では、T細胞活性化と寛容のシグナル制御について、種々の活性化シグナル分子が、いつどこに発現し集積して、運命決定のシグナル伝達を行うか、というダイナミズムを解析した結果について講演して頂きます。

参考文献

1. Takeuchi, A. et al: CRTAM confers late-stage activation of CD8+ T cells to regulate retention within lymph node. J. Immunol. 183(7): 4220-4228, 2009.
2. Yokosuka, T. et al: Spatiotemporal regulation of T cell co-stimulation by TCR-CD28 microclusters through PKC θ translocation. Immunity. 29(4): 589-601, 2008
3. Hara, H. et al: The adaptor protein CARD9 is essential for the activation of myeloid cells through ITAM-associated and Toll-like receptors. Nat. Immunol. 8(6): 619-629, 2007.

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 五十嵐 和彦(生物化学・内線7596)